TDB Business View
2026/11/06

「安い給食」脱却へ 給食企業の倒産が大幅減 前年の半数に低下

「ホーユー」破綻から 3 年、「安さ重視」から「適正価格」へ転換進む

「給食業界」の倒産動向（2026 年 1-10 月）

帝国データバンク

本件照会先
飯島 大介（調査担当）
帝国データバンク
東京支社情報統括部
03-5919-9343（直通）
情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日
2026/11/06

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

学校や病院、社員食堂などを支える給食事業者の倒産は、2026 年 1-10 月までに 12 件と前年からほぼ半減した。全国の給食現場に混乱をもたらしたホーユーの経営破綻を契機に表面化した低価格競争のひずみはなお残るものの、請負単価の見直しや業界再編を通じて、給食業界は新たな局面を迎えている。

株式会社帝国データバンクは、「給食事業」の倒産発生状況について調査・分析を行った。

［注］

集計期間：2026 年 1 月 1 日-10月 31 日まで

集計対象：倒産；負債 1000 万円以上の法的整理

■「給食事業」は、下記の 2 つの事業を対象とした

（1）学校や企業、官公庁などで従業員・顧客向けの「食堂運営」

（2）保育・介護施設など向けの「給食弁当配送」

「安い給食」脱却へ　給食企業の倒産、前年の半数に減少

「安くて当たり前」とされてきた給食サービスの転換が進んでいる。学校や病院給食、社員食堂などを支える給食事業者の倒産は、2026 年 10 月までに 12 件と前年からほぼ半減した。全国の給食現場に混乱をもたらしたホーユーの経営破綻を契機に表面化した低価格競争のひずみはなお残るものの、請負単価の見直しや業界再編を通じて、給食業界は新たな局面を迎えている。

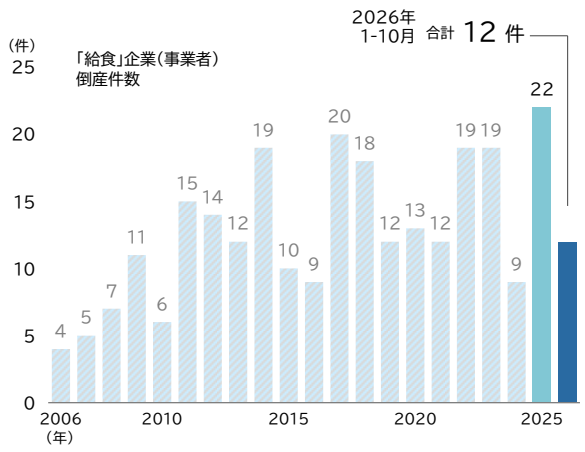
給食業界では、従前から学校や病院、福祉施設、社員食堂などを中心に価格競争が激しく、「安くて当然」の低価格競争に苦しんできた。2022 年以降、主原料である青果や精肉、鮮魚などのほか、月 2000 品目を超える食品値上げに代表される各種食材費上昇に加え、調理スタッフの人件費や光熱費などあらゆる運営コストが高騰し、小中学校を含む給食事業者の経営を襲った。2023 年 9 月には給食運営のホーユー（広島）が事業を停止し、全国各地で給食提供がストップするなど波紋が広がった。2024 年には物価高騰の波が一服したものの、2025 年にはコメ価格の急上昇が追い打ちとなり、従来の低価格受注や薄利多売のビジネスモデルではコスト上昇を吸収しきれなくなった。その結果、多くの事業者で「安い給食」のビジネスモデルが限界に達し、過去最多の 22 件が法的整理により退出を余儀なくされた。

一方で、近年は「安すぎる価格では給食ビジネス自体が続かない」という理解が発注側にも広がり、給食事業者の業績改善も進んでいる。2025 年度の損益状況が判明した全国約 300 の給食事業者のうち、「赤字」となった企業は 29.0％と、2 年連続で 3 割を下回った。各種コスト高を価格に反映できず、多くの事業者が採算割れに苦しんだ 2022 年度の 39.4％と比べると大きく改善した。食材費や人件費の上昇は依然として重く、経営面では厳しい状況に変わりないものの、近年は請負単価の見直しや価格改定が徐々に浸透しつつあり、業界全体では収益環境の改善もみられる。また、調理人員不足を背景に病院や介護施設などで外部委託需要が高まるなか、価格以外に「安定供給できること」「人材を確保できること」が重視されるようになった。かつては「安く作ること」を求められていたが、現在は「適正価格で安定・確実に供給できること」に変化している点も、給食事業者の業績改善を後押しする要因となった。

足元では、企業として消滅しても、手掛けてきた給食事業や契約が他社へ引き継がれるケースは多く、淘汰と再編が同時並行で進んでいる。給食提供がひとたび止まれば、子どもたちのみならず社会全体に広く影響が及ぶ「食のインフラ」であるだけに、「安い給食」から、「適正な価格で安定的に提供する給食」へと転換できるか注目される。

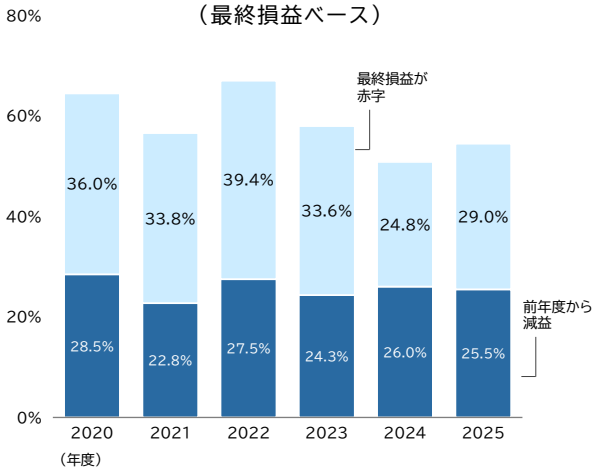
「給食事業者」の倒産・休廃業解散動向と背景

「給食企業」の倒産件数 推移



「倒産」：負債1,000万円以上の法的整理
「給食事業」は、下記の2つの事業を対象とした（1）学校や企業、官公庁などで従業員・顧客向けの「食堂運営」（2）保育・介護施設など向けの「給食弁当配送」

給食企業の損益動向
（最終損益ベース）



［注1］2026年は10月までの累積値

「給食業界」の倒産動向（2026 年 1-10 月）